

アカルボース錠「サワイ」を服用される方へ



食後の急激な血糖の上昇を改善する糖尿病のお薬です。
以下の点にご注意ください。この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

1. 薬の服用時間について

この薬はごはんやパンなどの食べ物と混ざり合って効く薬ですので、**食事の直前にお飲みください**。もし、食事の直前に飲み忘れた時には食事中にお飲みください。食後または空腹時の服用では、効果が弱くなります。

2. 低血糖について

●この薬を服用している時に低血糖が起こったら

必ずブドウ糖をとってください。この薬は砂糖などの二糖類の吸収を遅らせますので、ほかの糖尿病の薬で起こった低血糖には効果のある**砂糖やあめ玉**は、この薬をお飲みの時には**不十分**です。

- ・いつも**ブドウ糖を携帯してください**。低血糖になってしまっても、軽いちはブドウ糖をとると治ります。日頃からブドウ糖を持ち歩き、裏面に書かれている低血糖症状があらわれた時は、すぐその場で**5~10gのブドウ糖をとってください**。携帯用ブドウ糖については、主治医もしくは薬局にご相談ください。
- ・低血糖が起こったら、早めに主治医に報告してください。

●低血糖を起こさないために

- ・薬の飲み方は主治医の指導を正しく守ってください。
- ・食事量を減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。
- ・お酒の飲み過ぎ、激しい運動などは低血糖を起こしやすくなりますので主治医の指導を正しく守ってください。

●高所作業や自動車の運転等危険を伴う機械を操作している時に、低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

(裏面もご覧ください。)

低血糖とは

- ・血液中の糖分が少なくなりすぎた危険な状態です。急に異常な空腹感や、冷汗、動悸、手足のふるえ、目のちらつき、頭痛が起こったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。
- ・空腹時に起こりやすく、食べ物をとるとすぐに良くなるのが特徴です。

異常な空腹感



手足のふるえ



意識を失う



頭痛

3. 肝臓の機能への影響について

肝臓の機能の悪化防止には、早期発見と適切な対処が必要です。

この薬を飲み始めた最初の6ヵ月間は毎月、その後も定期的に肝機能検査が行われます。

次の症状があらわれた場合は、必ず主治医にご報告ください。

肝臓の機能に障害が起こった時にあらわれることの多い症状

- 全身がだるい
- 食欲がない
- 皮膚や目が黄色くなる
- 吐き気
- 褐色尿
- 体がかゆい
- 発疹
- 発熱

など



4. 腹部の症状について

この薬を飲み始めた時には、おなかが張ったりおならの回数が増えことがあります。1、2ヵ月飲み続けるうちにそのような不快な症状は改善することが多いのですが、症状が強い、腹痛を伴うなど特に気になる場合は主治医または薬剤師にご相談ください。

5. その他、気になる症状があらわれた場合には主治医または薬剤師にご相談ください。